

### 第3回三条市総合計画策定協議会 会議録（概要）

#### ●会議を開催した日時及び場所

日時 令和4年12月26日（月）午前10時～午前10時42分

場所 三条市役所 第二庁舎 301 会議室

#### ●出席委員（◎会長 ○副会長）（22人）

野崎 寛行	堀 善一	佐藤 栄	佐藤 隆司
古川 裕之	大竹 啓五	佐藤 洋一	大西 朗
田中 好	土田 初	布施 栄一	◎宍戸 邦久
○兼古 耕一	殖栗 孝雄	清水 昭	五十嵐 諒真
石黒 正晴	木下 久美子	長谷川 正樹	米山 堅
（オンライン）			
平澤 則子	西潟 陽菜		
（欠席委員）（3人）			
菊地 幸子	山田 彫子	丸山 増雄	

#### ●出席者

三条市長	滝沢 亮		
総務部長	笹川 浩志	市民部長	上原 勝善
福祉保健部長	佐藤 和明	経済部長	片野 義孝
建設部長	三巻 正志	教育部長	栗林 明子
消防長	古関 勝昭		
政策推進課長	米持 克広	政策推進係長	中村 拓也
主任	吉田 玲子	主任	田村 諭
主事	波塚 由香里		

#### ●傍聴者

なし

#### ●報道機関

越後ジャーナルクラブ

三條新聞社

#### ●内容

## 1 開会（午前10時開会）

## 2 議事

### (1) 三条市総合計画（案）に対するパブリックコメント等について

（米持政策推進課長 説明）

資料2により、三条市総合計画（案）について、第2回総合計画策定協議会での御意見、御指摘を踏まえた修正部分について説明。

資料1により、パブリックコメントについての御意見、御指摘を踏まえた修正部分について説明。

～質疑～

（佐藤（隆）委員）

パブリックコメントについて、市の考え方をお聞きしたい。資料1の3ページの8、「市の考え方」の中で「市内への就職等を条件に返済を免除する貸与型の奨学金制度」については、市内への就職ではなく、市内に在住しているという条件の中で就職等ということで貸与型が免除されると記憶しているが、市の考え方を確かめたい。

（栗林教育部長）

三条市に住んで三条市に市民税を納めていただくということを踏まえて就職等という表現にしているが、三条市在住ということでおっしゃるとおりである。

（佐藤（隆）委員）

市内への就職が「等」に当たるかどうか分からないが、承知した。

同資料の3ページの9の「保育環境の充実」というところで「民間活力の導入によって多様なサービスを提供する」ということだが、このパブリックコメントを実施したときにはどうだったか分からないが、最近の民間の保育園の労働環境が全国的によくない。それから活力の導入と言っても、虐待を始めいろいろな事件が露出してきている。であれば、そういう情勢を踏まえて「私立保育園などと連携しながら」というよりも、指導的立場を市として考えていきながら労働環境の改善というのが必要になってくると思う。

それから、「保育士の労働環境の改善」とあるが、保育園では保育士と呼ばれる人以外にもいろいろな人が従事している。延長のパートといった人たちは保育士とは公的には呼んでいない。そういった全ての保育に関わる待遇の改善というところも必要ではないかと思っている。

（栗林教育部長）

御質問の二つ目からいくと、パブリックコメントにおいて「保育士の給与水準」というお話でしたので、「保育士の」という記載としたものであるが、実際には当然そこで働く全ての人のことを考えている。

市がもっと指導的な立場をとるという御意見については、保育行政を考えると、実際

には定期的に現場に出向き、あるいは書類での監査等を行っており、それらにおいて日常業務の中で指導的な立場ということは示しているかと思うので、ここではさらによくしていくという意味を含めて連携とさせていただいた。

(長谷川委員)

資料1の1ページの3番だが、意見要旨では、子育て施策は、三条市はほかの市町村よりも劣っているのではないかと、ほかの市町村と同水準の支援は確保すべきと言っているが、それについての市の考えがよく分からない。答えにくいのかもかもしれないが、三条市としては、他市町村と比べて三条市の子育て支援が劣っていると考えているのか。2ページ目の7を見ると、「滝沢市長になってから子育て施策が充実してきたが、隣の燕市に比べて子育てしにくいまちというイメージが払しょくできていない」ということで、三条市は情報不足なんじゃないかという言い方である。ここの返答は私もこれでよいと思うが、三条市自体は、他市町村に比べて三条市の子育て施策は具体的に劣っていると考えられているのか、それとも、もう追い付いてきていると考えられているのか、そこが市の考えが分からないので教えていただきたい。

(栗林教育部長)

3番の意見要旨のところでは他市と比べて劣っているという御指摘があったが、子育て施策というと非常に幅広い。例えば、多くの皆さんが一律恩恵が被られるような子ども医療費の助成、こういう点については、確かに三条市は他市と比べると劣っているところが今まではあった。ただ、この点も昨年他市と同じように拡充をしたところである。反面、全員ではないにしても、個別の様々な課題をお持ちの方に対しては、妊娠期から成人までを対象とした三条市子ども・若者総合サポートシステム、あるいは、保育所の建て替え等、個人では出来得ないところを行政として引っ張ってきたところもある。そういう意味で、一概に全ての水準が低いとは考えていないが、皆様から見て水準が低いと思われていた点については改善をしてくれているので、このような記載にさせていただいている。

(宍戸会長)

特段質問等がないようなので、議題の(1)については、以上のとおりとさせていただく。そうすると、総合計画案そのものを特段この場で改める必要はないと思われるがいかがが。現在の案で修正なしとしてよいか。

(委員から異議なしの声)

(宍戸会長)

それでは、委員の御意見による修正、パブリックコメントの結果を踏まえて現在示した案からの修正はなしということとさせていただく。

(2) 「三条市総合計画（基本構想、基本計画）原案」の答申について

(事務局から各委員に答申案配布。米持政策推進課長 答申案読み上げ。)

(宍戸会長 委員からの意義なしの声により、配布の案で答申することを確認。)

3 答申

(宍戸会長から市長に答申書を手交)

(市長挨拶)

4 その他

(米持政策推進課長)

来年早々に基本構想、基本計画の原案を三条市議会に対し説明した後、臨時会において審議いただくことを予定している。

また、来月以降の計画の進捗管理について、委員の皆様にお願ひがある。今年度末を以て終了する現在の総合計画では、三条、栄、下田のそれぞれの地区に設置された地区協議会において御意見をいただいているところである。ただ、合併から一定の期間が経過していることや、いつまでもばらばらで審議していくのもどうだろうかという声もいただいております、そういった声も踏まえて、今回御審議をいただいた次期総合計画については、一つの協議会を新たに設けて進捗等に対する御意見をいただくことを予定している。一方で、それぞれの地域性を考慮することも必要であるということも考えており、これまで次期総合計画の御審議をいただいた皆様の御知見をお借りするとともに、ある程度現地区協議会の名残というものも考慮していく必要があると考えている。新たな協議会の委員構成等については、本日お越しいただいている、現三条市地区協議会の各地区の会長である、本協議会の兼古副会長、殖栗委員、清水委員とも相談させていただきたいと考えている。来年改めて御相談に伺わせていただきたいので、この場をお借りしてお願いさせていただきたい。

また、先ほど申し上げた、今回、次期総合計画の策定に御審議をいただいた皆様の御知見もお借りしたい。宍戸会長とも今後相談させていただき、願ひすることがあれば、各団体等を通じてさせていただきたいと考えているのでよろしく願ひ申し上げる。

公募委員の皆様におかれても、新たな協議会を発足する際は、改めて公募を行うことになるかと思う。その際には、御案内を差し上げたいと考えているので、検討いただければ幸いである。

(佐藤(栄)委員)

今月に入ってから新聞に一番子育てしやすい街ということでランキングが出ていた。

1位が豊島区で2位が松戸市、新潟市も上位に入っていた。この協議会においても、お隣の素晴らしい街を指標にして意見が出るが、全国である程度上位に挙がっている市町村で評価された項目を三条市と比べた資料がもしあれば見せていただきたい。

(米持政策推進課長)

佐藤(栄)委員がおっしゃったランキングがどのようなものか、私自身が具体的に把握していないのでお答えしかねる部分もあるが、子育て分野に限らず、様々な主体が

様々なランキングを設けている。ほかの自治体の取組も、学ぶべきところがあればぜひまねしてまいりたいということも含めて、今ほど御指摘のあった内容について改めて教育委員会で確認し、お示しできるものがあれば御案内を差し上げたい。

(宍戸会長)

これまで長らく御審議をいただき感謝を申し上げます。

5 閉会（午前10時42分）